

令和元年度計画護衛艦3番艦 引渡式 艦名「のしろ」

令和4年12月15日（木）、長崎造船所（三菱重工業（株））に木村防衛大臣政務官の出席を得て、引渡式が執り行われ、自衛艦旗を授与された護衛艦「のしろ」が初代艦長渡邊真史2等海佐の指揮の下、配備先である佐世保に向け出港しました。

同艦は、「もがみ」、「くまの」に続く「もがみ」型護衛艦の3番艦であり、基準排水量3,900トン、全長132.5メートル、最大幅16メートル、深さ9m、最大速力30ノット以上の最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は、令和元年度に計画され、令和2年7月に起工、令和3年6月に進水、ぎ装工事（各種機器等の搭載）と20回を超える海上での確認運転を経て、今般就役しましたが、この間、九州防衛局長崎防衛支局は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の完成に深く関わりました。



▲自衛艦旗授与式



▲自衛艦旗掲揚



▲護衛艦「のしろ」に乗艦する乗員



▲出港する護衛艦「のしろ」